第70回 日本スポーツ賞 優秀選手・団体決定

輝く選手 日本に元気

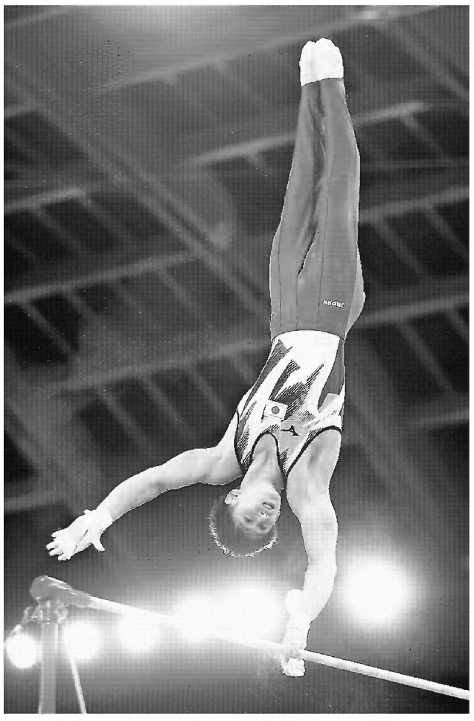
東京五輪など主要大会で輝かしい成績を残し、各競技団体から推薦された第70回日本スポーツ賞（読売新聞社制定）の優秀選手24人、優秀団体7チームが出そろった。20日に行われる同賞委員会で、グランプリ（大賞）など各賞が決まる。

新型コロナウイルスの影響で昨年の同賞選考は見送られており、今回の選考対象期間は2019年12月からの2年間。今年最大のスポーツイベントとなった東京五輪・パラリンピックで、五輪の日本勢はいずれも史上最多の金27個、総数58個のメダルを獲得した。「お家芸」の柔道は金9個。男子73キロ級の大野将平（旭化成）が連覇を達成し、対戦相手への敬意を失わない試合後の姿勢も称賛された。

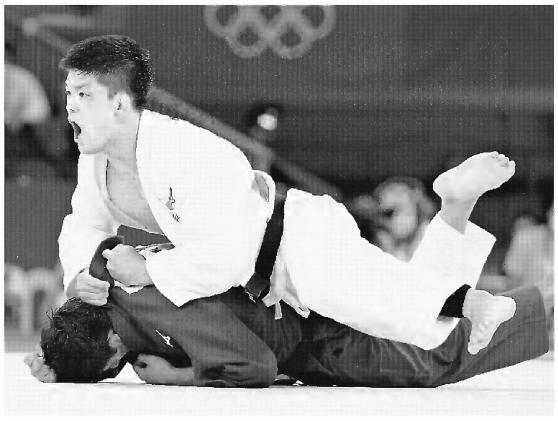
体操男子の橋本大輝（順大）は初出場で個人総合と種目別鉄棒を制し、団体総合銀メダルにも貢献。競泳女子の大橋悠依（イトマン東進）も400メートルと200メートルの両個人メドレーで優勝し、夏季五輪で日本女子初の同一大会2冠を達成した。08年北京五輪以来の実施となったソフトボールは、日本が頂点に立って「連覇」を果たした。

卓球混合ダブルスの水谷隼（木下グループ）、伊藤美誠（スターツ）組は強豪の中国ペアに勝ち、日本卓球史に初めて「金メダル」の文字を刻んだ。新種目のスケートボード男子ストリートでは、堀米雄斗（XFLAG）が初代王者となった。

東京五輪以外でもコロナ下の日本を勇気づける活躍が相次いだ。中でも大きな話題となったのは、男子ゴルフのマスターズ・トーナメントで優勝した松山英樹　男子の日本勢にとって史上初のメジャー制覇だった。



東京五輪の体操男子で2冠に輝いた橋本大輝



東京五輪で連覇を達成した柔道男子の大野将平

個人24選手

■陸上
鈴木健吾（すずき・けんご）（26）富士通。愛媛県出身。
◇2月のびわ湖毎日マラソンで2時間4分56秒の日本新記録をマークして優勝した。

■水泳
大橋悠依（おおはし・ゆい）（26）イトマン東進。滋賀県出身。
◇東京五輪の競泳女子200、400メートル個人メドレーで金メダルに輝き、夏季五輪で日本女子史上初の2冠を達成した。

■スキー
戸塚優斗（とつか・ゆうと）（20）ヨネックス。神奈川県出身。
◇スノーボードの世界選手権ハーフパイプ男子で日本勢2人目の優勝を果たした。

■ボート
荒川龍太（あらかわ・りゅうた）（27）NTT東日本。神奈川県出身。
◇東京五輪の男子シングルスカルで11位。

■ホッケー
田中健太（たなか・けんた）（33）HGC。滋賀県出身。
◇男子日本代表として53年ぶりに出場した東京五輪で、フィールドゴール5得点を挙げた。

■ボクシング
入江聖奈（いりえ・せな）（21）日体大。鳥取県出身。
◇東京五輪の女子フェザー級で日本女子初の金メダルに輝いた。

■体操
橋本大輝（はしもと・だいき）（20）順大。千葉県出身。
◇東京五輪の男子個人総合、種目別鉄棒で金メダル、団体総合で銀メダルに輝いた。

■スケート
羽生結弦（はにゅう・ゆづる）（27）ANA。宮城県出身。
◇20年2月の四大陸選手権で優勝し、ジュニアとシニアの主要国際大会6大会を全て制する「スーパースラム」を達成した。

■レスリング
川井梨紗子（かわい・りさこ）（27）ジャパンビバレッジ。石川県出身。
◇東京五輪女子57キロ級で優勝し、リオデジャネイロ五輪の63キロ級に続く2連覇。

■重量挙げ
安藤美希子（あんどう・みきこ）（29）FAコンサルティング。千葉県出身。
◇東京五輪女子59キロ級で銅メダル。全日本選手権では10度目の優勝を果たした。

■相撲
中村泰輝（なかむら・だいき）（21）日体大。石川県出身。
◇全日本選手権で初優勝。

■馬術
戸本一真（とも・かずま）（38）日本中央競馬会。岐阜県出身。
◇東京五輪の総合馬術個人で4位となり、馬術では1932年ロサンゼルス大会障害飛越個人金の西竹一に次ぐ好成績を収めた。

■柔道
大野将平（おおの・しょうへい）（29）旭化成。山口県出身。
◇東京五輪の男子73キロ級で金メダルを獲得し、大会2連覇を達成した。

■弓道
坂本達雄（さかもと・たつお）（38）青森県弓道連盟。青森県出身。
◇全日本男子選手権で4大会連続の最高得点賞に輝いた。

■ライフル射撃
吉岡大（よしおか・だい）（36）京都府警。京都府出身。
◇東京五輪の男子ラピッドファイアピストルで8位入賞を果たした。

■剣道
星子啓太（ほしこ・けいた）（26）岩手県武術太極拳連盟。岩手県出身。
◇全日本選手権で初優勝を果たした。

■近代五種
島津玲奈（しまづ・れな）（30）自衛隊。熊本県出身。
◇世界選手権で20位。東京五輪の出場権をアジア枠ではなく、国際連合の五輪ランキングで獲得した。

■山岳・スポーツクライミング
野中生萌（のなか・みほう）（24）XFLAG。東京都出身。
◇東京五輪で、3種目の総合成績で争う女子複合で銀メダル。

■空手
喜友名諒（きゆな・りょう）（31）劉衛流龍鳳会。沖縄県出身。
◇男子形で、東京五輪金メダル。世界選手権で4連覇、全日本選手権では10連覇を果たした。

■武術太極拳
斎藤志保（さいとう・しほ）（26）岩手県武術太極拳連盟。岩手県出身。
◇初開催の武術套路バーチャル競技会女子C組の42式太極拳で1位。

■トライアスロン
ニナー賢治（にな・けんじ）（28）NTT東日本・NTT西日本。
◇アジア選手権で優勝。東京五輪では日本勢最高の個人14位。

■ゴルフ
松山英樹（まつやま・ひでき）（29）愛媛県出身。
◇マスターズ・トーナメントで日本男子初のメジャー制覇。東京五輪では日本男子最高の4位入賞。

■テコンドー
山田美諭（やまだ・みゆ）（28）城北信用金庫。愛知県出身。
◇東京五輪女子49キロ級で5位入賞。

■ローラースポーツ
堀米雄斗（ほりごめ・ゆうと）（22）XFLAG。東京都出身。
◇東京五輪のスケートボード男子ストリートで金メダル獲得。ストリート種目の世界選手権でも優勝した。

上東京五輪のソフトボールで「連覇」を果たした日本代表下東京五輪の競泳女子200メートル個人メドレーで優勝した大橋悠依

団体21チーム

■サッカー
ビーチサッカー日本代表チーム▽監督兼選手　茂怜羅オズ▽選手　赤熊卓弥ら13人。
◇W杯ロシア大会で、年齢制限のないカテゴリーで日本男子サッカー初の決勝進出を果たし、準優勝した。

■テニス
青山修子（近藤乳業）・柴原瑛菜（橋本総業）ペア。
◇女子ダブルスでマイアミ・オープンなどツアー5勝を挙げ、ウィンブルドン選手権、WTAファイナルで4強入りを果たした。

■バレーボール
東京五輪男子日本代表チーム▽監督　中垣内祐一▽選手　石川祐希ら12人。
◇東京五輪で29年ぶりに準々決勝に進出し、7位入賞。

■バスケットボール
5人制女子日本代表チーム▽選手　高田真希ら12人。
◇東京五輪で男女を通じて初のメダルとなる銀メダルに輝いた。

■アイスホッケー
ユース五輪女子日本代表▽選手　福田奈生ら17人。
◇20年のユース五輪で金メダルに輝いた。

■セーリング
男子470級日本代表チーム▽コーチ　関一人▽選手　岡田奉樹（トヨタ自動車東日本）、外薗潤平。
◇東京五輪で7位入賞。

■ハンドボール
女子日本代表チーム（おりひめジャパン）▽選手　原希美ら26人。
◇19年世界選手権で24チーム制になって以降、過去最高の10位。東京五輪では45年ぶりの日星を挙げた。

■卓球
水谷隼（木下グループ）・伊藤美誠（スターツ）ペア。
◇東京五輪の新種目として採用された混合ダブルスで日本卓球界初の金メダルに輝いた。

■軟式野球
大阪シティ信用金庫▽監督　大野篤史▽選手　岡本龍祐ら18人。
◇天皇賜杯全日本大会で15年ぶり4回目の優勝。

■フェンシング
男子エペ団体チーム▽コーチ　オレクサンドル・ゴルバチュク▽選手　見延和靖、山田優、加納虹輝、宇山賢。
◇東京五輪で日本フェンシング界初の金メダルを獲得した。

■ソフトボール
女子日本代表チーム▽監督　宇津木麗華▽選手　上野由岐子ら15人。
◇東京五輪で金メダルを獲得し、2008年の北京五輪から13年を経て連覇を達成した。

■バドミントン
渡辺勇大・東野有紗（日本ユニシス）ペア。
◇全英オープンで2度目の優勝を果たし、東京五輪では混合ダブルスで日本史上初のメダルとなる銅を獲得した。

■ラグビー
天理大学▽監督　小松節夫▽選手　松岡大和ら23人。
◇全国大学選手権で初優勝を果たし、関西勢で36大会ぶりとなる大学日本一となった。

■野球
東京ガス▽監督　山口太輔▽選手　小林勇登ら31人。
◇都市対抗大会で初優勝。

■カーリング
チーム吉村▽選手　船山弓枝ら4人。
◇日本選手権優勝、パシフィック・アジア選手権優勝。

■アメリカンフットボール
オービックシーガルズ▽ヘッドコーチ　大橋誠▽選手　砂川敬三郎ら65人。
◇日本選手権ライスボウルで7年ぶり8度目の優勝。

■サーフィン
ワールドゲームズ日本代表チーム▽ヘッドコーチ　ウェード・シャープ▽選手　五十嵐カノアら6人。
◇ワールドゲームズで団体2位。

■アーチェリー
男子団体日本代表チーム▽選手　古川高晴、河田悠希、武藤弘樹。
◇東京五輪で、男子団体では初のメダルとなる銅を獲得した。

■銃剣道
高知中央高校▽監督　竹内ひとみ▽選手　森本一統ら3人。
◇全国高校生大会で団体戦初優勝を果たした。

■クレー射撃
東京五輪混合トラップチーム▽監督　永島宏泰▽選手　大山重隆、中山由起枝。
◇東京五輪で5位入賞。

■ボウリング
群馬県ボウリング連盟▽選手　宮沢拓哉ら4人。
◇全国都道府県対抗選手権で団体総合優勝。

優秀選手

■陸上
鈴木健吾（富士通）

■水泳
大橋悠依（イトマン東進）

■スキー
戸塚優斗（ヨネックス）

■ボート
荒川龍太（NTT東日本）

■ホッケー
田中健太（HGC）

■ボクシング
入江聖奈（日体大）

■体操
橋本大輝（順大）

■スケート
羽生結弦（ANA）

■レスリング
川井梨紗子（ジャパンビバレッジ）

■重量挙げ
安藤美希子（FAコンサルティング）

■相撲
中村泰輝（日体大）

■馬術
戸本一真（日本中央競馬会）

■柔道
大野将平（旭化成）

■弓道
坂本達雄（青森県弓道連盟）

■ライフル射撃
吉岡大（京都府警）

■剣道
星子啓太（鹿児島県剣道連盟）

■近代五種
島津玲奈（自衛隊）

■山岳・スポーツクライミング
野中生萌（XFLAG）

■空手
喜友名諒（劉衛流龍鳳会）

■武術太極拳
斎藤志保（岩手県武術太極拳連盟）

■トライアスロン
ニナー賢治（NTT東日本・NTT西日本）

■ゴルフ
松山英樹

■テコンドー
山田美諭（城北信用金庫）

■ローラースポーツ
堀米雄斗（XFLAG）

■アーチェリー
男子団体日本代表チーム

■銃剣道
高知中央高校

■クレー射撃
東京五輪混合トラップチーム

■ボウリング
群馬県ボウリング連盟

■野球
東京ガス

■カーリング
チーム吉村

■アメリカンフットボール
オービックシーガルズ

■サーフィン
ワールドゲームズ日本代表チーム

優秀団体

■サッカー
ビーチサッカー日本代表チーム

■テニス
青山修子（近藤乳業）・柴原瑛菜（橋本総業）ペア

■バレーボール
東京五輪男子日本代表チーム

■バスケットボール
5人制女子日本代表チーム

■アイスホッケー
ユース五輪女子日本代表

■セーリング
男子470級日本代表チーム

■ハンドボール
女子日本代表チーム（おりひめジャパン）

■卓球
水谷隼（木下グループ）・伊藤美誠（スターツ）ペア

■軟式野球
大阪シティ信用金庫

■フェンシング
男子エペ団体チーム

■ソフトボール
女子日本代表チーム

■バドミントン
渡辺勇大・東野有紗（日本ユニシス）ペア

■ラグビー
天理大学

◇日本スポーツ賞委員会
安西孝之（日本ゴルフ協会名誉会長）瑞谷千春（国際オリンピック委員会名誉委員）伊藤雅俊（日本スポーツ協会会長）宇津木妙子（日本ソフトボール協会副会長）桜井孝次（日本陸上競技連盟顧問）田嶋幸三（日本サッカー協会会長）林務（日本オリンピック委員会名誉委員）平松純子（国際スケート連合名誉委員）森喜朗（元内閣総理大臣）山下泰裕（日本オリンピック委員会会長）＝以上50音順、敬称略
▽読売新聞グループ関係
渡辺恒雄（グループ本社代表取締役主筆）山口寿一（同本社代表取締役社長）杉山美邦（日本テレビ放送網代表取締役社長執行役員）松田陽三（東京本社専務取締役広告・事業担当）前木理一郎（同本社常務取締役編集局長）吉村秀男（同本社取締役事業局長）

◇推薦辞退
自転車、ソフトテニス、カヌー、ながなた、ボブスレー・リュージュ・スケルトン、学生野球、バイアスロン